

岩手南部署、遠野支署の採材現地検討会に参加

令和7年10月23日(木)、岩手県奥州市胆沢区若柳の慶存土場において岩手南部署と遠野支署共催による採材現地検討会が開催され、青森事務所から職員2名が参加しました。当日は快晴のなか、県・市担当者、林業関係団体や林業事業体など70名の参加者を得て開催されました。岩手南部森林管理署長の挨拶後に講師の紹介と現地概要説明、続いて青森事務所から東北森林管理局管内の需要動向について、今年度の委託販売結果、スギ等針葉樹の4m採材の推進、請負事業実行時の留意事項等について説明しました。

次に、岩手県森林組合連合会から地域の木材市況動向についての説明が行われ、実際の現地検討に移りました。



開会式の様子



6班に分かれ材種区分について検討

はじめに、参加者が6班に分かれ、準備された8本のスギ丸太の材種区分を検討し結果を発表。発表内容について、ノースジャパン素材流通協同組合から講評をいただきました。続いて桧積についての検討を行い、東北地区原木トラック運送協議会により運材トラックの作業範囲等を実演していただき参加者が確認するとともに、桧の高さなど桧積の改善点について同協会からご意見・ご要望をいただきました。

最後に、青森事務所から講評と労働安全等についてお話させていただき、検討会は無事終了となりました。

青森事務所では、今後も各署等で開催される採材検討会等に積極的に参加し、国有林材の有効利用や労働災害の未然防止に貢献したいと考えています。



検討結果の講評



運材トラックによる実演